

Tosho

第8号 2005.4

東商LADY

新体制スタート
東京商工会議所女性会臨時会員総会
第36回 全国商工会議所女性会連合会東京総会
平成17年新年懇親会
宮尾登美子氏講演会(関商女性連・東商女性会共催)
研修会・例会
ふらり東京の旅 —隅田川を歩こう—
同好会活動報告
メディアに登場したメンバーたち 他

Lady

新体制スタート

「結束と実行、そして前進」を目指して

平成16年11月16日

東商女性会臨時会員総会

於・東商会議室



女性会新体制に

あたって

会長 齋藤 朝子

東京商工会議所の議員選挙に伴い、女性会は昨年11月に新たな組織体制でスタートいたしました。500名会員を支える組織として新副会長2名を加え、役員53名の強力な体制となりました。

今後の運営方針としては会員の皆様にメリットを実感していただける運営を、また「交流」「研修」「情報・広報」の3担当制による全会員を対象とした事業の展開をはかってまいります。また女性の立場から意見具申のできる組織体制とすべく、新たに委員会も立ち上げることになりました。

会員の皆様には何れかの担当はもちろん、委員会にも所属して頂き、今後の女性会活動に対して、ご支援ご協力のほどお願い申し上げます。

わが国の景気には大手製造業を中心に一部明るさが見えてはまいりましたが、中小企業まではその波及効果は出ておりません。一方で同業種企業間で格差が出ているのも事実です。革新、改善に努め着々と実績を伸ばしている企業も増えております。山口会頭が提唱しておられます自助・自立の精神で経営に努力し、女性会のネットワークで励まし合い実りある年にしてまいります。



東京商工会議所の議員選挙に伴い、女性会会長の選任が昨年の11月10日開催の第553回常議員会にて行なわれ、齋藤朝子会長が再任されました。これを受け女性会規則にもとづき、臨時会員総会を11月16日に東京商工会議所会議室にて開催しました。

開会に先立ち、9月24日に急逝された女性会理事・川上千恵子さんへ黙祷を捧げました。齋藤会長から前期の女性会活動への支援・協力等に対してのお礼とともに、「新しい3年間も女性会のため、女性経営者のために全力を尽くす決意です。『結束と実行、そして前進』という今年のスローガンのもと、会員の皆様にメリットを実感していただき、社会への意見具申のできる女性会になるよう、皆様とともに自己研鑽を重ねていきたいと思っております。」との挨拶がありました。

次いで齋藤会長が議長となり、議事録署名人の選任、報告事項として、直前会長・副会長、常任理事の委嘱、選任報告ならびに、名誉会長・顧問・相談役の選任報告がありました。次に議件1の理事・監事の選任について諮られ、承認されました。議件2として新体制における女性会運営、1. 役員組織、2. 運営方針①会員がメリットを実感できる運営、②3担当制（交流/研修/情報・広報）による全会員対象の事業展開、③関係団体（全商女性連・関商女性連）との連携強化、④女性の立場から意見具申ができる組織体制についてのすべての議件が承認されました。このあと懇親会へ移行しました。

齋藤会長挨拶の後、新副会長の渡辺光子さん、小林栄子さんの紹介と挨拶、次いで東京商工会議所の広瀬一郎常務理事より乾杯のご発声をいただき、それに続き女性会会員の竹腰里子さんの叙勲受章報告、新任役員の紹介などが行なわれました。出席された会員の皆様同士の交流や情報交換をはかり、散会しました。

（文・奥山睦 写真・阿部千恵子、佐原泰子）



世代を育む社会づくり

副会長 吉川 稲美

一昨年来、創業塾の熱心な受講生の方々と交流させて頂き、起業を目指す女性が増えていることを心強く感じます。女性のしなやかな感性を活かし、利益を追求するのみではなく、公の志を持つ経営者が増えていくことで、次世代を育む社会を創りあげ、そのお手伝いをさせていただけましたら嬉しく存じます。

また、今年は新しい委員会として、国家としても深刻な問題である少子化にかかわる政策への提言をも視野に、女性の生き方、働く環境について皆で考えていきたいと思っております。
本年も、どうぞよろしくお申し込み申し上げます。



2005年の新体制の
スタートにあたって

副会長 山崎登美子

経済は徐々に回復しつつあると言われる中、中小企業では未だ実感が湧かないのが現状です。そこで「東商女性会」として何が出来るか、阪神淡路大震災から10年目の神戸を重ねて考えました。震災直後から皆が一丸となり、目覚しい復興を果たした神戸。一体感がそれを可能にしました。東商女性会は「徳、知、体、情(情操)」を備えた女性経営者の集団であり、役割は多岐にわたります。「交流」「研修」「情報・広報」に、すべての会員が参画することで、熱意ある交流、志高き研修、情報の迅速化が出来るのです。副会長としての私は、それらの活動を可能にする「環境づくり」ではないかと考えます。更なる一体感のため、会員の皆様のご協力、ご鞭撻をお願い致します。



会員の皆様の新睦と交流

副会長 山野 壽子

4月になり何もかも新しくスタートする季節となりました。昨年11月にスタートしました新体制のなかで副会長として、微力ではありますが二期目を務めさせて頂く事になりました。

今期は新しく交流と情報・広報の担当者としてサポートさせて頂きます。
500会員となった今、会員の皆様の親睦と交流はとてども大事なことです。楽しい女性会、それぞれの方に役に立つ女性会：となりませうように皆様と一緒に頑張りたいと思っておりますのでよろしくお申し込み致します。



会員の相互の
意志疎通を密に

副会長 安間百合子

東商女性会は昨年来の新体制下で、諸先輩方が築き上げてこられた55年の歴史と伝統を尊重しながら活動を更に充実させるべく努力してまいりる所存です。

女性経営者の集まりとして、社会に於ける女性の役割や地位向上を目指すのは勿論のこと、よりよい未来に向けて、会として具体的に何をして行くべきかを、会員の皆様とともに探求し、それらを一一つ実現してまいりたいと考えております。

当面の課題として、私は会の活動方針にそって、会員相互の意思疎通をより密なものにするのと同時に、さらに会の運営を開かれたものにしていきたいと思っておりますので、会員の皆様には今後共、更なるご協力を頂きますようよろしくお願い致します。



活力あふれる
女性会をめざして

副会長 渡辺 光子

昨年までは、研修担当のリーダーとして蓼科フォーラムでの2泊3日の研修をはじめ、さまざまな切り口で企画、運営をしてまいりました。その際の委員の皆様の活躍ぶりはさすがに経営者、てきぱきと動いていた、良い成果に繋がりました。

副会長に就任いたしましたして重責は感じますが、今まで同様、会員の皆様とネットワークを構築しながら、「女性会に入ってすばらしい人に巡り合えてよかった」「今回の研修は実務に役に立った」など会員の方々に好きになっていただけると言うような「生き生きとした女性会」を、皆様と一緒に作り上げていく一端を担えればうれしいと思っております。



新体制の
スタートにあたって

副会長 小林 栄子

企業にとって少しずつ改善の兆候が見られ木洩れ日が差し込んできたように思います。

東商女性会も昨年新たな体制でスタートしました。今後の東商女性会のさらなる飛躍のためには、自由な議論を交わし、女性ならではのチャレンジ精神を発揮し、共有のネットワーク社会を構築するとともに、社会に貢献できる活動を通じて、女性会の存在感を世間にアピールすることが重要であると思えます。また、私も女性会の副会長として、目標を高く凛として挑戦し成功させたいと思っておりますので皆様のご指導ならびに応援をよろしくお申し込みいたします。

第36回 全国商工会議所女性会連合会東京総会

女性会の正副会長が集まるといって、新しい方式での全国商工会議所女性会連合会総会が、平成16年11月24日新高輪プリンスホテル国際館パミールで開催されました。

この総会をもって小泉清子会長が退任されました。新たに齋藤朝子東京商工会議所女性会会長が、連合会会長を引き継がれました。



全国315女性会から正副会長たちが集まった総会

全国各地の商工会議所女性会の正副会長約1200人が集まった総会は、主催者として小泉会長の挨拶から幕を開けました。次に山口日本・東京商工会議所会頭の挨拶、そしてホスト側として齋藤東商女性会会長が「この総会をきっかけに、相互のきずなと信頼を広げてほしい」と挨拶がありました。

平成16年度に新設された「全国商工会議所女性会表彰規則」に基づき、東京、横浜、大阪、砺波、黒部、安城、明石、西宮、新宮、宇部の10女性会が、組織強化表彰を受けました。

また、総務、環境・福祉、広報・情報、企画・調査の4委員会の活動報告がありました。

第3回女性起業家大賞授賞式では、秋田県の「陽気な母さんの店友の会」の会長・田山雪江さんが最優秀賞を受賞。東京からは(株)朋コーポレーション社長



山口日本・東京商工会議所会頭挨拶



齋藤東商女性会会長挨拶

の下河原朋子さんがグロース部門優秀賞を受賞されました。

16年間会長を務められた小泉会長は、この総会をもって会長を退任されました。

小泉会長からは寄付のお申し出をいただき、活用方法は今後検討することになりました。

平成元年に会長に就任され、全国の商工会議所婦人会の名称を商工会議所女性会に統一されたり、女性起業家大賞を制定なさるなど、女性経営者のために尽力されてきました。なお、小泉会長は永きにわたるご功績により名誉会長に就任されました。

総会に続いて行われた記念座談会は「次世代へのメッセージ」をテーマに有意義なお話を伺うことができました。そして記念座談会終了後には懇親会が開かれ、さらなる交流を深めました。

(文・金原好紀)

式次第

総会

- 1 開会
- 2 全国商工会議所女性会連合会旗入場
- 3 国歌斉唱
- 4 女性会の歌斉唱
- 5 「商工会議所女性会活動指針」唱和
- 6 物故者への黙祷
- 7 主催者挨拶
- ・ 全国商工会議所女性会連合会会長 小泉清子
- ・ 日本・東京商工会議所会頭 山口信夫
- ・ 東京商工会議所女性会 会長 齋藤朝子
- 8 来賓挨拶
- ・ 内閣総理大臣メッセージ
- ・ 経済産業大臣メッセージ
- ・ 東京都副知事 福永正通氏
- ・ 内閣府男女共同参画局長 名取はにわ氏
- 9 来賓・役員紹介
- 10 委員会活動報告
- 11 第3回女性起業家大賞授賞式
- 12 商工会議所女性会表彰
- 13 次回開催地(名古屋) 女性会への会旗引渡し
- 14 閉会

記念座談会

- 「次世代へのメッセージ」
時代が変わっても変わらない大切なもの
コーディネーター 野中ともよ氏(ジャーナリスト)
- パネリスト
池田守男氏 (東京商工会議所副会頭・株式会社資生堂社長)
金 美齡氏 (評論家・JET日本語学校専務理事)
- コメントーター
山口 信夫氏 (日本・東京商工会議所会頭・旭化成株式会社社長)

懇親会

- 1 開会
- 2 アトラクション NHK東京児童合唱団
- 3 乾杯
- 4 閉会

全国商工会議所女性会連合会 小泉清子会長退任のご挨拶

【全文】

私は本日をもって、全国商工会議所女性会連合会会長の任期終了により、辞任させていただきます。

平成元年、前会長の森井登久子様より引き継ぎまして、足かけ16年、満15年の長い間、商工会議所の引いた組織の道を無事歩かせていただきました。思えば長い長い道のりでありました。こんなに長い間、なぜ継続することができたのか。それは一重にも二重にも三重にも、ここにおられる全商女性連の副会長・役員・会員・事務局の皆様が、未熟で非才な私を全面的に大きな信頼と厚い厚い友情で支えて下さったことに尽きると存じます。本当に皆様ありがとうございました。心から心から御礼申し上げます。

また、愚直で口べたでお世辞の言えない私が皆様の好意にお応えするには、誠実と熱意と行動で、筋を通す会長職を全うすることだと信じました。女性会の皆様が実に良くご理解下さいまして、ご協力頂きました。



野の草のお着物を
お召しになった小泉会長

こと、本当に感謝致しております。

無我夢中で走り続けた中で、強く残る思い出がいくつもございます。

一つは、平成11年の東商女性会五十周年でございます。丁度、桜が満開の時期でございます。今日と同じように全国から大勢の役員の方々にお集まりいただきました。そして、皇太子妃雅子様の御台臨をいただいたのでございます。働く女性経営者への励ましのお言葉は、強く胸に刻まれました。そして後で私に、「今日は初めて日本語でスピーチが出来て、とても嬉しかった」と仰せがございました。その日は、海外からの女性経営者200人を含む総勢1500人もの方にご参加いただき、とても盛大でございます。これは当時の副会長を始め、全員の強い団結があったからこそ成し得たのでございます。みんな手を取って喜び合いました。

この記念式典が終わった後、その

副会長と共に、今後の女性会を永劫に発展させる案を検討致しました。議論に議論を重ねた結果、会長の私をはじめ、副会長

の総退陣という形をもって、新生東商女性会を作ることになりました。つまり現在の東商女性会を生んだのでございます。ちょうどこの年は男女共同参画基本法が施行された年でもございました。

また、こんなこともございました。私が自動車事故で怪我をして、10日間は絶対安静だと医者に言われましたが、翌日は関商女性連の総会があったのでございます。一日も休まないのでございます。一日も休まないので会長職の責任だと思っておりましたから、本当に困りましたが、寝台自動車でも時間も揺られて総会に臨み、他の出席者に知られることなく議長職を務めた上げた時は、その地の女性会長は泣いて喜んで下さいました。

日本の各地には、素晴らしい会長・役員の方々が大勢いらつやいます。私はいつも教えられております。しかし各地で総会があると、その夜、私の泊まっているホテルの部屋に一般会員の女性経営者の方がいらして、苦渋に満ちた相談を受けます。会員の苦しみは私の苦しみ、会員の悩みは私の悩みと思つて、膝を交えながら語り合っているうちに、夜がしらしらと明けることが何回もありました。支え合い、助け合う仲間との心

の結びつきは、女性経営者同士だから出来ることだと思います。

私は地位や名譽は好きではありません。それより志の高い人と魂と魂をぶつけながら本音で話す、いつも仕事に意欲的で、挑戦しながら苦しんでいる仲間同士に生き甲斐を感じます。組織も政策も大変重要ですが、最終的には女性同士の心の結びつきこそ、会を發展させるのではないのでしょうか。

全商女性連は現在、日本最大規模の女性経営者団体となりました。しかし日本経済は、多難な時代を迎えております。こんな時だからこそ全商女性連の役割は大きくなってまいります。女性同士の強い団結と、私に賜りました信頼と友情の精神を守られながら、今後一層のご發展がございませうことをお祈り申し上げます。

本日、私の着ておりますきものは、私の大好きな野の草が千種描かれております。踏まれても逆境に遭つても健気に咲く野の草は、まさに女性経営者の姿でございます。これからは心は皆様と共にあります。そして皆様の温かい友情に包まれて生き抜きたいという思いで着て参りました。皆様、本当に本当にありがとうございます。

全国商工会議所女性会連合会東京総会 記念座談会

「次世代へのメッセージ」時代が変わっても変わらない大切なもの

コーディネーター 野中ともよ氏(ジャーナリスト)
 パネリスト 池田守男氏(東京商工会議所副会頭・株式会社資生堂社長)

金美齡氏(評論家・JET日本語学校専務理事)

コメンテーター 山口信夫氏(日本・東京商工会議所会頭・旭化成株式会社社長)

戦後失われてきた

「まほろばの心」

野中 皆様こんにちは。大変な熱気の会場ですね。さて、まず資生堂の陣頭指揮を執られる池田さんは、神学校に進まれて、プロテスタントの牧師を目指した若者でいらっしゃいました。そして今は、資生堂の新しい大

改革をなさっていらっしゃいます。今日は、お仕事の話もさることながら、時代が変わっても変わらない大切なもの、次世代へのメッセージをお伺いしたいと思います。

池田 やはりそれは精神性ですね。精神性を支えておりますものは日本人の心、日本人の道徳、倫理。私はこの日本人の心というものを復活させない限り、日本の再興はあり得ないと言わせて頂いてもいいのかなと思いますね。

それは「まほろばの心」です。大和の時代のまほろばの心、この根底になるのは「慈悲」ということですね。それと「感謝」ということ。慈悲と申しますのは、他者に対する優しさであり思いやりなんです。この心こ

そが私はこのモノ中心の戦後の時代の中で失われてきた一番大きなものではなからうかと思っております。

台湾に根づいた「日本精神」

金 私は昭和34年、1959年に留学生として台湾から日本へやってきましたので、日本にもう45年もいることになりました。

日本にいる最初の35年というのは私は大変な状態に置かれていました。台湾は当時一党独裁でありまして、私はなぜかそのブラックリストに載りまして、言論も許されないといい状態の中で、台湾に帰れなくなつたのです。パスポートも無効になり、パスポート無しで日本という外国に住むという、かなり大変な状態、危険な状態での生活でした。その時にもし日本がもう帰れど、強制送還になっておりましたら、私たち夫婦は生きてく道が無かつたんですね。そのどこへも行くところのない身分を、日本



野中ともよ氏

が受け入れてくれた。ですから私は日本にお礼奉公をしなくてはいけないと思つているのです。

私の出身地であり祖国である台湾には「日本精神」という言葉が残っています。この日本精神という四字の漢字は日本ではもう死語ですが、台湾では今でも台湾語として使われています。

皆様もご存じのように台湾はかつて1895年から1945年までの間は日本の領土で、私も日本人として産まれたのです。



池田守男氏



日本はその50年の間に台湾に鉄道を建設し、近代的な生産手段を備えた工場等の諸施設を作ったり、新しいダムを作り農業の改革をしたり、衛生状態を良くして医療制度のレベルをあげたり、戸籍を安定させ、全島津々浦々に学校を作ったのです。この功績は素晴らしいものがあります。

1945年まで台湾で生活していた日本人の姿をみて、台湾人は「日本精神」というのはとても素晴らしいものだといふことができました。勤勉、向上心、信用、無私の精神、つまり公のために名を尊ぶ。この諸々の人間の日常生活に絶対必要な倫理観、約束ごと。これらを当時の日本人は台湾人に働きを通じてしっかりと示したわけです。ところが今はどうなのか？それが問題なのです。

戦後教育の歪み

山口 今、金さんのおっしゃいました、「日本精神」。やはりそれをずっと伝えていって欲しいと思いますね。

終戦前に、アメリカはすでに日本に勝利することが分かっていた、ハーバード大学に依頼をして、日本の教育や制度で何を直さなくてはならないかを3年くらい前から研究させていました。天皇の問題と軍部が統帥権を持つて政治と同等の立場にあるという状態、この二つは直さなくてはならないが、教育制度そのものは日本は直すべきものは何もない、むしろアメリカは参考にすべきだという結論でした。しかし日本が強国になることに脅威を感じた当時のアメリカ政府が、日本の教育をねじ曲げたという説もあります。

大事なものが長い間時間をかけて失われてきたということが、現代の抱える問題の原因の一つではないかとも思います。

モノ中心の時代で失ってきたもの

野中 池田さんは、プロテスタントで、実際には牧師としての修行や勉強

をなさったわけですよ？それがどうして資生堂にご入社されることになったのですか？

池田 1960年、ちょうど私が大学の卒業を迎えた時、日米安全保障条約を更新するかどうかという、ある意味では日本の戦後の舵取りの節目になる年で、私もキリスト教会の中でも賛否両論ありました。私自身はアメリカを中心に日本を再建していくのは当然のことであると思っていました。しかし組織として一つとなつて動かなくてはならない宗教界が、当時は必ずしも組織そのものが十分な形で機能してなかった気がしてなりません。そこで、その組織の中に身を置くよりも、一度社会に出て、自分の宗教そのもの、あるいは信仰そのものを見つめ直したい。そういう思いで1961年に縁がありまして、現在の資生堂に入社したわけでありました。

さて、戦前の生活、あるいは社会の規範には、「武士道」の精神が根底にあったような気がしてなりません。それが戦後になりますと今度はモノ不足ですから、モノ中心になるのは当然です。だから、国中心から企業中心になってくる。そうなつてくると、

当然個というものよりも企業中心の社会となり、画一性、統一性、効率性、合理性というものが中心となります。そこではやはりある程度人間的な感情を押し殺さざるを得ません。

これからの企業は社員個々人の力を発揮してもらうために、一人ひとりが自己実現を図っていく、仕事を通じて、夢と希望をもつことができない限り、私は、次の世代、次の時代には移れないと思います。これは個々の企業はもちろんのこと、日本全体で取り組まねばならない大きな命題であろうと思っております。

すべての国には光と影がある

金 大企業の社長である池田さんが、個人の一人ひとりの幸せということをこころも思っていらいっしょにすることはとても素晴らしいことだと思います。対して私は究極のフリーターなのでございます。紅毛碧眼でない外国人には、私が卒業した昭和38年のころには、まったく就職の道が閉ざされていた時代なんです。やっとならぬ25年後ぐらいになりますと、状況が徐々に変わり始め、わが娘、わが息子は外国人で国籍もないのに正社員として

金美齡氏



採用される第1号という、私達が受け入れてもらえる時代になったのです。

日本というのは島国ですから、長い歴史のある国の中で、外国に侵略をした歴史の少ない国なのです。戦前の日本はすべて悪だなんて言う人がいますが、とんでもない。すべての国には光と影があつて、日本の歴史にも当然とかスペインだとかフランスだとか、もう本当にどれだけの植民地を持つたか分からないような国々に比べると、日本はむしろ罪は浅い、罪は少ないと言つていい。だからといってそれで喜んでいいということは決してないんですけれども、そういうふうに自己

を否定し過ぎてしまつてはいけないというのが私の考えなのです。

この社会のいろいろな組織にはもちろんまず個がある。個人というのは自分自身を肯定しなければ他者を肯定することは全くできないわけですから、まず自分自身を肯定することに始まって、家族、地方自治体、自分が所属する学校、所属する組織、企業が成り立ちます。そしてその上に日本という国があるのです。これを忘れてはいけません。つまり組織というものもがどれだけ日本人を豊かにしたかということも決して忘れてはいけない。だからといって組織に盲従するのではなくて、どうバランスを取るかが大事なのです。

日本の心の上に接ぎ木を

池田 皆様の中には、映画の「ラストサムライ」をご覧になったという方もいるでしょう。その基本になったものが新渡戸稲造先生の『武士道』です。この本が英語で書かれたのが1899年ですから、105年ほど前ですね。私はこの翻訳を最初に19歳の時に読みました。

日本の風土は社会規範も、武士道



山口信夫氏

の精神によつて成り立っている。だから武士道という接ぎ木の台木の上にキリスト教を接ぎ木する。これが本来の姿であることを『武士道』の中で述べられております。私はこの言葉に深く感動しました。

ですから創業の精神というものの、あるいは社会規範であり国民道徳である日本人の心というものをもう一度全員が思い起こして、その上に今日のグローバルゼーションの精神を接ぎ木することが重要なのです。

「負けじ魂」と「愛」を

伝えていきたい

山口 私が次世代に残しておきたい、伝えたいのは、「負けじ魂」といいますか、「静かなる勤勉さ」といいますか、そういうものを失わないようにとい

うことがひとつで、もうひとつは「愛」ですね。

私は終戦の年に陸軍士官学校という職業軍人の学校を卒業しました。旧陸軍の日本最後の陸軍少尉なので、そして北朝鮮に渡る前に田舎に帰りまして、終戦の2カ月前なのですが、歓呼の声に送られて出征したわけです。そして軍隊の学校の間は、死ぬ時には「天皇陛下万歳」だぞと教えられたはずなんです、実はやはり「お母さん万歳」「お母さんさようなら」と言つて死んでいる人がほとんどでした。だからやっぱり親に対する愛情、故郷に対する愛情、それが集結して国に対する愛というものになるのではないかと思います。

野中 ありがとうございます。この全国商工会議所女性会連合会の皆様から期待とエールを送りたいと思います。皆様方が全国で「やっぱり私たちが中心になって変えてあげよう、この国。フーン」という感じでどうぞ頑張ってください。

本記事は、記録テープをもとに、東商女性会情報・広報担当が要旨をまとめ編集いたしました。

全国商工会議所女性会連合会東京総会

懇親会

懇親会は、東京商工会議所女性会副会長であり今総会の実行委員長の吉川稲美さんの挨拶で開会されました。

吉川東商女性会副会長挨拶



「次世代に伝える大事なことの中に、恩義と感謝も大きなテーマとして加えたいと思います。また、今大会

で退任される小泉清子会長は、会長就任以来人間として経営者としてすばらしい生き方を見せ続けていただき、その全身全霊をかけて先人として道を切り開いてくださいました。その道は自分たち後輩が今後もしっかりと引き継いでいきたいと考えます。」
 そして、小泉清子会長の今までのご活躍に対して全員で拍手をもって感謝の意を表しました。その後、アトラクションとしてNHK東京児童合唱団の皆様にあざやかな歌声を披露して頂き、浅地東京商工会議所副会長より乾杯の発声の後、会食・懇談とな

りました。

パーティー会場では、新高輪プリンスホテルの総力をかけた和・洋・中様々な料理がテーブルごとに次々と運ばれて、おいしい料理に会話も弾みました。さらにこの懇親会では、初めての試みとして参加者相互の「連帯」と「交流」を深めることを目指し、各地女性会の皆様にバラバラのテーブルに着席いただきました。そして東商女性会のメンバーの方々にも、テーブルごとに名刺交換などを通じた交流や懇親を図っていただくための「テーブルコーディネーター」役をおつとめいただいたところ、参加者の皆様から大変好評を得ました。和やかな雰囲気の中、東京商工会議所女性会副会長であり実行副委員長の安間百合子さんの挨拶

で、総会は無事閉会しました。

(文・鈴木 紀子)



各参加者の皆様に全商女性連東京総会の感想をお伺いしました。

鹿屋商工会議所

副会長 大窪 千代子様

総会に出席したのは初めてでしたが、大変勉強になりました。今は、倫理規範、大切なものが損なわれていくと感じていました。残していかなければならないものはあると思います。

八戸商工会議所

会長 松井 フミ様

商工会議所へは入会して27年になります。過去の総会では小泉会長とエキスカージョンで一緒にさせていただきました、非常に良くしていただいた思い出があり、今回の小泉会長の退任は非常に残念です。今回のパネルディスカッションを聞いて、野中ともよさんをぜひ八戸にお招きしたいと思いました。八戸商工会議所女性会でも、さまざまな奉仕活動を行っており、奉仕の精神についてのお話をしていただければ幸いです。



能代商工会議所

副会長 池内 栄子様

総会への出席は、今回で2度目になります。東京の総会はずばりでした。長時間の会合にもかかわらず、時間が短く感じられました。

(インタビュアー・鈴木紀子 林和恵)



(写真・相坂柚火子 大津洋子)

佐原泰子 林和恵 水上郷子



東京商工会議所女性会 平成17年新年懇親会

正副会長と各担当リーダーの紹介

齋藤会長

東京商工会議所女性会の新年懇親会開催にふさわしい晴れた日、目白にある会場では、会員の皆様とお客様の熱気で包まれていました。

皆様がそれぞれのテーブルに着席。各テーブルには、交流担当のメンバーがコーディネーターとして、皆様の会話が一層活発になるようににこやかな笑顔で着席されていました。司会は山口玲子交流担当リーダー。

始めに開会の辞が小林栄子副会長から、次に齋藤朝子会長が挨拶に立たれました。

「昨年は多々の災害に見舞われました。心から御見舞い申し上げます。と共に、早期の回復を祈ります。経済においては、大企業の製造業を中心に景気回復の兆しがみられますが、中小企業においてはまだまだの感がします。昨年は会員の結束と実行で55周年の記念事業を行い、全商女性連東京総会には1200人ももの全国各地の女性会会員を迎え、成功のうちに終了できた事を心から御礼申し上げます。

昨年11月から女性会の組織が新しい体制となりました。今後の活動計画として会員の皆様に大いなるメリットを感じていただくような組織を固めていきたいと思います。

全国女性会、関東地区女性会、皆様の力を集めて今まで以上のよい年となりますようお祈りします」

次に、来賓の皆様が挨拶。初めに内閣府男女共同参画局名取はにわ局長より、「今年は政府方針としてもチャレンジの年です。内閣府に共同参画局ができ5年を迎え、今年は節目の年、そして2月末には国際会議が開催されます。小泉総理の年頭の挨拶にもありました通り、女性がさらなる能力を発揮していただく為に、新たに女性の起業家にも細かい支援を実施していきます」

次に東京都生活文化局男女平等参画担当・江津定年参事から、「東商女性会の皆様、日頃より男女平等を推進するためにご意見ご協力をいただきありがとうございます。さて、生活文化局においても男女平等を推進し、共同参画を推し進



小泉名誉会長

そこで今後、女性経営者の企業数が全体の30%を超える事を期待しています。女性の活力で中小企業の

支援事業を充実させ、飛躍の年といたしましょう」
乾杯は小泉清子名誉会長のご発声でした。
「昨年は大津波や地震が発生し、暗い話も多い中、紀宮様のご婚約が発表されるなど、明るい話題もありました。さて、小さい頃に読んだ童話『桃太郎』というお話は、現在の企業の経営感覚を教えてくださいます。それは、猿の「知恵」、雉の「情報収集力」、犬の「行動力」といったそれぞれの得意な能力を如何なく発揮できる環境を整え、鬼（≪競合他社≫）に負けないための分析・戦略を練ることこそが桃太郎（≪経営者≫）の役目だということです。

また、最近では女性の力が増してきたと言われ始めていますが、アメリカにおける女性の企業家の割合と比較すると、日本はまだまだ足元にも及ばない状況です。女性ならではの力をもっと発揮すること、日本の経済はより良い方向に進むと思います。時間がかかるかもしれませんが、より一層の女性経営者の発展を願ひ、乾杯といたします」

その後は、フォーシーズンズホテル椿山荘の心づくしのお料理が運ばれ、各テーブルでは皆さん大いに近況を語り、和気あいあいの中で懇親会は進行されて行きました。また、山口日商・東商会頭には、たいへんお忙しい中、懇親会からご出席をいただきました。

おいしい食事もデザートへと進み、アトラクションはボニージャックスの歌声。爽やかで力強い歌声が会場いっぱいに広がりました。そして恒例の抽選会となり、山口会頭、小泉名誉会長、齋藤会長をはじめ、多くの方々からの御寄贈の賞品が皆様に当たりました。

最後に渡辺光子副会長からの閉会ご挨拶で楽しいひとときもお開きとなりました。

（文・安井啓子、相坂柚火子、西尾多恵子
写真・阿部千恵子、志摩淑子、保田和江、佐原泰子、水上郷子）

①雇用の場に於ける女性の活用の推進運動②子育て支援、仕事と家庭の両立支援③家庭内暴力防止に重点をおいています。女性の活気が景気を支えていると言われている今、全ての分野で女性の活躍を期待しています」

次は植松敏日商・東商専務理事よりご挨拶。

「景気はやや安定してきたようだが、中小企業にはその影響が及んでいません。長引く不況の中で東商会員は事業所数で約2割減りました。その一方で、女性会は500名を越す勢いです。さらに昨年の東商議員選挙においても女性の新しい議員が増え、活躍されています。

また、最近では女性の力が増してきたと言われ始めていますが、アメリカにおける女性の企業家の割合と比較すると、日本はまだまだ足元にも及ばない状況です。女性ならではの力をもっと発揮すること、日本の経済はより良い方向に進むと思います。時間がかかるかもしれませんが、より一層の女性経営者の発展を願ひ、乾杯といたします」

その後は、フォーシーズンズホテル椿山荘の心づくしのお料理が運ばれ、各テーブルでは皆さん大いに近況を語り、和気あいあいの中で懇親会は進行されて行きました。また、山口日商・東商会頭には、たいへんお忙しい中、懇親会からご出席をいただきました。

おいしい食事もデザートへと進み、アトラクションはボニージャックスの歌声。爽やかで力強い歌声が会場いっぱいに広がりました。そして恒例の抽選会となり、山口会頭、小泉名誉会長、齋藤会長をはじめ、多くの方々からの御寄贈の賞品が皆様に当たりました。

最後に渡辺光子副会長からの閉会ご挨拶で楽しいひとときもお開きとなりました。

東商女性会平成17年新年懇親会

平成17年1月25日(火) 18時

フォーシーズンズホテル椿山荘東京 1階「ボールルーム」
司会 交流担当リーダー 山口 玲子

- 1 開 会：東京商工会議所女性会 小林 栄子 副会長
- 2 会長挨拶：東京商工会議所女性会 齋藤 朝子 会長
- 3 来賓挨拶：内閣府男女共同参画局 名取はにわ 局長
東京都生活文化局・男女平等参画担当 江津 定年 参事
日本・東京商工会議所 植松 敏 専務理事
小泉 清子 名誉会長
- 4 乾 杯：東京商工会議所女性会 渡辺 光子 副会長
- 5 会食・懇談
- 6 アトラクション ボニージャックス
- 7 抽選会
- 8 閉 会：東京商工会議所女性会



当日メニュー



抽選風景



豪華商品当選者



ボニージャックス

関商女性連・東商女性会 共催講演会

宮尾登美子氏講演会

「女性の生き方」―義経と生きた女性たち

3月2日に東商ホールで、作家の宮尾登美子氏を招いて

関商女性連との共催講演会が開かれました。

NHK大河ドラマ「義経」の原作は、多いことでしょう。小泉関商女性連会、宮尾登美子先生の「宮尾本平家物語」長と宮尾先生は、古くからのお知りです。NHK大河ドラマの中でも高視聴率をとる人気ドラマで、毎日曜日楽しみに放映を待っていらつしやる方も

合いで、今回の講演会が実現しました。

講演会場には550名の参加者が



あり、盛会となりました。小泉関商女性連会の長と宮尾先生は、古くからのお知りやかな和服姿の宮尾先生が登場され講演が始まりました。

宮尾先生はご主人、

小さなお子さんと一緒に昭和21年、満州から引き上げていらつしやいました。戦後、民主国家となった日本に驚き、そして「男性も女性もこれからは、思うように生きていい時代

がきた」と実感されたそうです。引き上げ後に大病をされ、死を覚悟された宮尾先生は、幼いお嬢さんに何か遺したいとお考えになり、半生記を書き始められました。それが作家と



なるきっかけになったとのことでした。

女性の生き方を生涯のテーマとし、小説を書かれていましたが、『權』で太宰治賞を受賞されるまでに26年間かかったとお話がありました。

平家物語の巻頭にある系図には、女性個人の名前はなく、ただ「女」としか書かれていなかったことが『宮尾本平家物語』執筆のきっかけとなったそうです。

「平家の女性たちが天皇家や貴族と婚姻し、子どもをもうけなければ平家の繁栄はなかったのに、系図には

その存在も記してもらえない。それならば、私とその女性たちに名前をつけ、その生き方を残そう」と考えられたとのこと。宮尾先生のお話を伺って、NHK大河ドラマの今までとは違った楽しみ方を見つけることができました。

今までに20編の小説をお書きになった宮尾先生は、20人の女性の生き方を書かれてきました。長い執筆生活の中で「女の意地」を發揮して、困難な状況も乗り越えられてきたとか。最後に宮尾先生は「仕事は死ぬまで続けましょう」と、参加者に手を振られながら、会場を後にされました。

(文・五十嵐容子、金原好紀)

写真・井上象英、阿部千恵子、大津洋子



第5回研修会
「ホーム・スイートホーム」
上映会

台風接近で雨模様は夕刻、第5回研修会が行なわれました。齋藤会長の「高齢化社会」という関心事がテーマなので、楽しみにしてきました」という挨拶が始まりました。

渡辺リーダーから日本における高齢化対策の遅れ、痴呆性高齢者の受け皿となる家庭、公共施設、社会の問題点についての講演の後、ひとりの老人をめぐる心温まる家族愛のドラマ「ホーム・スイートホーム」のビデオ上映となりました。



さすがに原作が松山善三さんだと感じさせる物語で上映終了後、吉川副会長が「非常に感慨深く、人間の生き方について考えさせられた」という閉会の挨拶がありました。

(文・作田智子)

第6回研修会
講演会「ブランドづくりとその本音」

今回より東商女性会役員の皆様を中心に講師をお願い



し、基本的に1ヶ月に一回のペースで開催していく予定となりました。今回は、最初に研修担当の吉川稲美副会長の開会の挨拶の後、齋藤朝子会長より「ブランドづくりとその本音」と題してご講演をいただき、その後パネルディスカッション「ブランドの構築と活かし方」が行われました。

齋藤会長の講演会では、高級旅館「海石榴(つばき)」を開業させた当初の苦労話やブランドを維持するための工夫やこだわり、おもてなしの精神、人材の育成等についてお話しをいただきました。

パネルディスカッションでは、業種等に関係なく身の丈にあったブランド構築のノウハウをお聞きすることができました。

(文・市瀬優子)

第209回
例会報告
アサヒビール
名誉顧問
中條高德氏講演会

9月27日、臨時会員総会終了後に第209回例会が行なわれました。アサヒビール株式会社名誉顧問の中條高德氏より「変化の時代は誰でも勝てる〜小が大に勝つ〜」という演題で講演会は始まりました。



冒頭に「商工会議所に参加する人たちは勝ち組である。なぜなら求める心が熱い人たちだからだ。」というお話から始まり、逆境からの脱出法についてのご自身の体験を交えながらお話しして頂きました。あくまで消費者のニーズに合わせたモノづくりをしていく「マーケティング」という発想や、挫折は「成功した時の喜びを増すための塩味」と捉え、挫折から学びとる経験の大切さ、会社が安泰である時にこそ会社が倒れた時を想定して危機管理を重点的に行なう必要性についてのお話が大変印象的でした。

(文・八木美重子 写真・神田妙子)

第210回
例会報告
全国商工会議所女性
会連合会東京総会
記念座談会ビデオ上映会

「次世代へのメッセージ」時代が変わっても変わらない大切なものというテーマで行われた記念座談会のビデオが、上映されました。

記念座談会は大変好評で、当日総会に参加できなかったメンバーのために上映会が行われました。

最初に総会の概要について、事務局から説明があり、東商女性会が受賞しました、組織強化表彰状の披露がありました。

野中ともよコーディネーターのユーモアと機知に富んだ進行で、池田東京商工会議所副会頭は、武士道とキリスト教を引用しながら、金美齢さんは世界を旅行した情報の中から、山口日本・東京商工会議所会頭は、ご自身が戦場に出征して行く時の心境の中から、それぞれ貴重な体験をお話くださいました。

お弁当をいただきながら90分のビデオ、大変有意義な時間でした。改めて第36回総会の充実した内容を実感いたしました。

(文・八木美重子)

ぶらり東京の旅

隅田川を歩こう

満開の隅田公園のさくら

地下鉄銀座線、東武浅草駅から五分程歩くと隅田川沿いに、ソメイヨシノ、しだれ桜と1kmにわたり約千本の見事な桜が隅田区側、浅草側と土手沿いに咲いています。

4代將軍家綱の指示で植えられたもので、その後8代將軍吉宗の時、本格的に植栽し、花見の名所になりました。長命寺の桜もち、言問団子もここならではの楽しみ。又、帰りに近隣の浅草浅草寺、仲見世に寄るのもおすすです。



提供：墨田区



提供：墨田区



全国商工会議所女性会連合会

「組織強化表彰」を

受賞しました！

11月24日に開催されました全国商工会議所女性会連合会東京総会にて、東商女性会が組織強化表彰を受賞いたしました。

これは平成16年度に新たに「全国商工会議所女性会連合会表彰制度」が創設され、初年度である今回は「組織強化表彰」が実施されたもので、過去3年間における会員数の増加率の高かった10商工会議所女性会が表彰されました。(写真・贈呈された表彰状)

今後とも他の女性会のお手本となるような組織づくりを目指すとともに、この表彰を励みにさらなる会員増強に向けて、皆様のご協力をお願い致します。



同好会活動報告



ゴルフ同好会

平成16年度最後の大会にもなった第4回大会は、9月29日に「京カントリークラブ」で行われました。参加者は過去最高の26名を数えました。台風の影響で一時的に雨が降りましたが、無事に大会を終えることができました。優勝は井上象英さん、準優勝は保田和江さん、第3位には三宅由美さんという結果でした。また、2月18日に、



ゴルフ同好会親睦会を新橋第一ホテルアネックスで開きました。同好会発足時には8名しかいかなったメンバーも、現在

では48名となりました。当日も24名のメンバーが出席し、今後の運営方針を話し合いながら、おいしい食事とカラオケを楽しみ、さらに交流をあたためました。

ゴルフ同好会の今後の大会開催予定は以下の通りになっています。

★第5回大会 4月22日(金)

「スリーハンドレッドクラブ」 定員20名

★第6回大会 7月2、3日(土、日)

「フォレストカントリークラブ」

宿泊は東京商工会議所蓼科フォーラムを利用。定員24名。

★第7回大会 10月14日(金)

場所は未定。定員28名。

ゴルフがお好きな方たちは、ぜひ奮ってご参加ください。(文・小林栄子)

同好会に関するお問合せは事務局までご連絡下さい。

くらぶ倶楽部同好会

第3回定例会開催



東京駅を一望できる、丸ビルのイタリアンレストランで12月8日に、第3回定例会が開催されました。とびっきりの食材で彩られたピザ、パスタそしてデザートは、人気レストランの名にふさわしい味でした。

心理学をベースにした自分発見ゲームや、各自趣向を凝らしたプレゼントの交換をしながら和気あいあいと時間が過ぎてゆきました。ライトアップされた東京駅の優美な姿は格調高く、一年を締めくくる会としてふさわしいものとなりました。

電力消費地および生産地における

女性経営者交流会



2月19日に新潟県の柏崎商工会議所女性部と刈羽村商工会女性部、福島県の大葉町、大熊町、富岡町、楡葉町の各商工会女性部により、東商ビルにて交流会が行われました。

この交流会は、東京の電気の約5割を供給している両県の代表として参加する首都圏エネルギー懇談会主催のフォーラム「東京のエネルギーは、いま」に合わせて開催されたものです。

交流会では、3都県の代表（東京は齋藤会長）のご挨拶に続き、出席者紹介、各会の活動状況報告が行われました。活動状況報告では、規模的に小さいながらも素晴らしいアイデアと行動力で地域の活性化に大きく貢献されている各女性部の活動や、抱えている課題などについての意見交換を行い、大変有意義な交流会となりました。



起業を目指すOLや主婦などを対象とした女性起業家向けの「女性による創業塾」が1月15日から2月12日にかけて開催されました。本塾は東京商工会議所・日本商工会議所の主催で、参加者も講師陣もすべて女性で構成され

る特別コース。開催は、毎週土曜日の午前10時から午後5時まで。5週連続と大変ハードなスケジュール。起業や独立に意欲的な女性が増えていることから、当初50名の定員に対し100名を超える申し込みがあり、増員して開催されました。開講式では吉川副会長が「女性の起業は家庭の両立など難しい問題があるが、これ乗り越えて頑張ってほしい」と挨拶され、受講者からは「創業へ向けての後押しになった」「目標とした経営者に出会えた」などの感想が聞かれ大変好評でした。

「女性による女性のための創業塾」の開催協力

メディアに登場したメンバーたち

◎千葉テレビ（平成16年10月12日放映）
吉川稲美副会長が「発想の原点」に出演されました。テレビ史初の生放送同時通訳を行った際の舞台裏のご苦労や、人生やビジネスにおけるターニングポイントとなった出来事などを話されました。

◎日本貴金属新聞

（平成16年11月11日号掲載）
歌舞伎座のショーウィンドウにジュエリーデザイナーとして初めて阿久津扶見理事の作品が常設展示されたことが掲載されました。

◎戦略経営者（平成17年2月号掲載）
特集「女性社長に学ぶしなやか経営」に下河原朋子会員が掲載されました。

「愛」と「健康」を経営理念にした琉球もろみ酢の販売事業を始めるきっかけや売り上げを伸ばしていくまでの経緯などが書かれています。
（※メディアに登場されましたメンバーの情報募集しています。自薦他薦は問いませんので、事務局までご一報下さい。）

情報・広報担当一覧（敬称略順不同）

●副会長：山崎登美子／山野壽子／渡辺光子
●リーダー：石野康子●井上象英／八木美重子／五十嵐容子／藤沢薫／安井啓子／相坂柚火子／阿部千恵子／志摩淑子／西尾多恵子／保田和江／美安達子／浅野邦子／伊藤淳子／梅岡聖子／大津洋子／奥永久美／奥山睦／金原好紀／神田妙子／斉藤満由美／佐藤俊江／佐原泰子／鈴木紀子／竹華静／長谷川泰子／林和恵／平木幸子／松平洋史子／水上郷子／宮田真知子

〔平成17年2月末日現在〕

訃報

当女性会理事の川上千恵子様（株式会社ぶんどご・会長）が平成16年9月24日にご逝去されました（享年71歳）。
当女性会相談役の平田和子様（株式会社アドレ・会長）が平成17年3月10日にご逝去されました（享年82歳）。
心よりご冥福をお祈り申し上げます。

東商女性会 今後の予定

- 4月12日（火）
東商園遊会 於八芳園
- 4月18日（月）
観劇会 歌舞伎鑑賞会
- 5月16日（月）
関東商工会議所女性会連合会総会
（東京大倉 於ホテルニューオータニ）
- 6月9日（木）
東商女性会会員総会 於東商ビル
- 6月17日（金）・18日（土）
愛知万博視察会&名古屋女性会との交流会

編集後記

永年にわたり情報・広報担当リーダーとしてご尽力頂いた井上象英さんより引き続きスタートした新体制より半年、新緑の季節を迎えました。昭和52年以来、27年振りに東京で開かれました全国商工会議所女性会連合会東京総会の記事を中心に、東商LADY第8号を無事発行できますことを感謝申し上げます。

広報を担当なさった先輩から「足で記事を探さない」とのアドバイスをいただきました。楽しい企画、アイデアや忌憚なきご意見を情報・広報担当までどうぞお寄せくださいますよう、よろしくお願ひ申し上げます。

情報・広報担当リーダー 石野康子



東商LADY

2005年4月1日 第8号

発行所

東京商工会議所会員情報部会員交流センター

発行人

東京商工会議所女性会
会長 齋藤朝子

編集人

東京商工会議所女性会
情報・広報担当
表紙写真: 世界文化フォト